

平成27年度第4回理事会議事録

期 日 平成 28 年 3 月 13 日(日) 10 時から 12 時 30 分まで

会 場 青森市民病院 3 階小会議室

出席 11/12 91.7%

稲葉孝典	工藤亮裕	船水憲一	福士正広	森脇公洋	藤森 明	西村秀行	片岡郁美
○	○	○	○	○	○	○	○

三浦隆司	澤橋政美	石倉牧人	成田将崇	監事	長内恒美	岩瀧昌善
○	○	×	○		○	○

稲葉会長が議長を務め、議事録作成人に三浦隆司理事、議事録署名人に工藤亮裕副会長を指名し、理事会を開催した。

会に先立ち、第 3 回理事会の議事録が配布され、その記載内容の確認が行われた。

〈内容〉

【報告 1】公益事業について（報告：稲葉会長）

公益事業 1（ホームページに掲載）

事業内容に関しては、ホームページに掲載されている。

以下に、その内容を記載する。

2015/12/15 統一講習会の定数を増やします（12/16 午前中）

2016/01/08 統一講習会 青森市民病院へのバス利用について

2016/01/28 放射線リスクコミュニケーション教育部門講演会開催について（2/1）

2016/02/10 平成 27 年度第 2 回医用画像部会のお知らせ（3/12）

2016/02/12 平成 27 年度第 2 回医用画像部会の地方開催ポイントについて

2016/02/28 平成 27 年度第 2 回医用画像部会最終プログラム

2016/03/04 第 4 回 青森乳腺診断フォーラム（3/19）

2016/03/04 第19回青森CT・MRI診断・技術研究会演題募集ご案内

2016/03/04 日本郵政を装った迷惑メールについて

2016/03/04 平成27年度第2回医用画像部会参加申込(3/4まで)

公益事業2(報告:稲葉会長)

1. 第2回医用画像部会「他院画像の取り込み方法(運用を含めて)と課題」

日時:平成28年3月12日(土) 15:00~18:00

場所:青森市民病院 3階大会議室

会員35名、非会員5名、賛助会員10名の合計50名での開催。

基本的には各施設でのルールに則ることになるが、データの入ったメディアは患者の持ち物であり、サーバーに取り込む際には同意書が必要であろう。技師会主導での統一ルールの検討も必要となるであろうことから、夏までには意見をまとめたい。

2. 業務拡大に伴う統一講習会について

日時:平成28年1月9日(土)~10(日)

場所:青森市民病院

50名の申し込みがあり、1名欠席の49名での開催。

休憩もほとんど取らず、中身の濃い講習会であった。特に実習は大変良かった。

【報告2】常務理事会について(報告者:稲葉会長)

①第7回常務理事会 平成28年1月31日(日)

総務関係

会員の移動を確認。9月22日以降の増減なし。

入会(JART)10名 入会(県のみ)14名 転入(3名) 退会(JART+県)1名

年度当初会員数 県 285名 1月31日現在309名

JART 274名 1月31日現在286名

理事会の日程変更

4月24日(日) 10:00~ 期末監査 12:00~ 常務理事会 (技師会事務所)

14:00~ 第1回理事会 (青森市民病院 3F小会議室)

上記の報告あり。他の事項については第4回理事会次第に沿って順次報告。

②第8回常務理事会 平成28年2月27日(土)

第7回常務理事会の内容を確認した。

役員選挙について

- ・第4回理事会までに役員意思を確認する
 - ・新会長候補と役員人選(推薦)を検討する
- 上記について全会一致で承認した。

③実行執行役員業務報告

(別紙資料1)

【報告3】第2回東北地域会長会議・教育委員会議

日時：平成28年2月7日(日)

場所：岩手医科大学病院 循環器センター

参加者：稲葉会長、西村理事

①平成28・29年度東北地域理事

岩手県 永峰会長に決定。理事推薦の話も出たが今回は見送り。

秋田、山形、宮城、青森の4県で会長交代。

②業務拡大に伴う統一講習会

各県200名以上の受講目標に対して、本会では4回を予定。4回目は予備として、3回目までの受講状況を見ながら検討。講師拡大のため、石倉理事と弘前大学附属病院の鈴木会員を推薦。全講習を受講していることが条件となるため、4月に仙台で開催される講習会に参加予定。

③女性部会の事業計画を承認

片岡理事からセミナー追加の報告。8月20日(土)「ゼロから始めるマンモグラフィー(仮)」(仙台市を予定)。実行委員として各県2名を予定。

昨年度までは会員1人あたり200円であった負担金を400円にする提案があったが、今年度は300円とすることが決定。

【報告4】その他

①会議関係

1月5日付 原子力災害医療協力機関登録

B 被災者の汚染計測

E 避難退避時検査の検査チーム派遣

G その他 地域住民等への健康相談等（弘前大学、青森県技師会）

1月6日付 青森県原子力災害医療対策専門部会委員に工藤副会長を指名
工藤副会長は引き続き、任期は2年間。

工藤副会長より、平成27年10月10日に行われた「福島災害医療セミナー in 弘前2015」を引き合いに、福島の変化を学ぶことが重要であり、今年度も同様のセミナーが行われる予定なので是非参加して欲しいとの発言あり。

②2月6日（土）日本消化器がん検診学会東北支部放射線研修委員会平成27年度研修会が開催された（ラ・プラス青い森 9:00～13:00）。当該検診学会に所属していない技師会・非会員も20名以上が参加していたと報告をいただいている。このことから、まだまだニーズがありそうであり、検診センターの全面的な協力を得られることになったので、来年度3月4日（土）上部消化管初級講座（青森市）を計画。

【議案1】平成28年度事業計画・予算案について（別紙4）

（事業計画（案）、総務関係（案）：稲葉会長、予算（案）：福土理事）

<平成28年度事業計画（案）>（稲葉会長）

詳細な年間計画は各研究会に確認することとし、全会一致で承認された。
理事会後、開催会場など微細な修正を行っている。

（別紙資料2、3）

<平成28年度総務関係（案）>（稲葉会長）

全会一致で承認された。理事会後、微細な修正を行っている。

（別紙資料2）

<平成28年度予算（案）>（福土理事）

全会一致で承認された。内容は下記の通り。理事会後、微細な修正を行っている。

（別紙資料4）

・正味財産予算内訳表

事業費率の根拠となるもの

・正味財産予算（公1・普及啓蒙事業）

特に変更は無いが、今年度の弘前市民健康祭りにおける、骨密度測定器レンタル料がデモ機扱いとして無料であったと稲葉会長より報告あり（来年度はレンタル料必要）

・正味財産予算（公2・資質向上業務）

東北地域学術大会、旅費交通費（実質使用実績無い為）を減額

・正味財産予算（共通）

会員数が10名増となり、正会員会費が増加。公益事業分として半分を予算化。マンション代などの減価償却費を計上。研修規定には無いが、講師等記念品代等を含む消耗品費を増額。会計士の指導により、総会資料印刷費を法人会計へ移動。

・正味財産予算（他1・会員相互扶助）

特に変更無し。

・正味財産予算（法人関係）

正会員会費の半分を計上。前述の通り、減価償却費、総会資料印刷費が増額。事務所の上階で水漏れ事故があり、加害者になった場合を想定して、事務所火災保険料を新たに計上。

岩瀧監事より、統一講習会の費用が盛り込まれていない様だがとの質問あり。稲葉会長より、日放技と東北地域での負担となるため県としての持ち出しはないとの説明あり。

【議案2】会費納入規定規程の改正に伴う救済措置（案）（森脇理事）

改正に伴う運用の決定が遅れたため、一部の会員に不利益が発生しない運用の提案。日放技とは規定規程が異なるため参考までに併記することとし、資料の修正を加えた後、全会一致で承認。年度内に速やかに対象会員に連絡し、4月1日からの申請に備えることも確認。

理事会後、開催会場など微細な修正を行っている。

（別紙資料5）

【議案3】公益社団法人青森県診療放射線技師会表彰規程（案）（森脇理事）

全会一致で承認。これをもって理事会当日（平成28年3月13日）から施行開始。次の理事会までに対象者をピックアップし、来年度の総会で表彰することも確認。

理事会後、開催会場など微細な修正を行っている。

（別紙資料6）

【検討事項】平成28・29年度役員について（稲葉会長）

・選挙管理委員

次期委員選出について、稲葉会長から選挙管理委員会に打診する。

告示 3月中

立候補期間 30日間（4月7日～5月6日）

候補者の告示 届出締切後20日以内 ホームページと総会資料に掲載する。

（総会資料入稿5月9日予定）

投票 6月19日総会

・理事会役員

役員の推薦は4月24日の平成28年度第1回理事会で決定する。

以上

本書は議事録に相違ない

平成28年3月23日
青森市安方二丁目17番15-802号
ライオンズマンション新町通
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

議事録作成人 三浦隆司

議事録署名人 工藤亮裕

代表理事 稲葉孝典

監事 長内恒美

監事 岩瀧昌善